

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体		指定期間：平成27年4月1日～令和2年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営	<p>■体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場を提供することを目的に大阪府の競技スポーツ・生涯スポーツの拠点施設として設置された大阪府立門真スポーツセンター（以下、「当施設」。）の目的に沿った管理運営を實踐。</p> <p>■さらに、当施設の管理運営にあたっては、利用者サービスの向上や経費の節減を図ることはもとより、民間の経営手法や人材・技術力などの活力を最大限に活かした運営を行うことにより、施設を有効利用した事業展開を図るなど、魅力的な施設運営を目指す大阪府の意向に沿った管理運営を實踐。</p> <p>(評価点：3点)</p>	A	<p>◆門真スポーツセンター条例に記載のある設置目的に従って、「体育・スポーツ及びレクリエーションの新興を図り、併せて文化的な集会及び催物の場」を適正に提供できるよう、適切な管理運営を實施できている。</p> <p>◆メインアリーナにおいては、水泳の全国大会、各種団体の運動会、またアイスショーの利用等メインアリーナの転換に応じた利用がなされている。</p> <p>(評価点：3点)</p>	A	
		②提案した管理運営方針に沿った管理	<p>■施設を有効活用するために、自主事業としてスポーツ教室及び文化教室を實施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ教室 → 講座数：23 ●文化教室 → 講座数：4 <p>■近隣3市と連携したプール利用補助券の販売實施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和元年上期（4月～9月）実績 <ul style="list-style-type: none"> ・門真市 利用者数：6,940人、前年差：▲277人 ・大東市 利用者数：3,643人、前年差：▲2人 ・寝屋川市 利用者数：2,472人、前年差：12人 <p>■職員の一般知識及び専門知識向上のため各種研修を實施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和元年度：4月9日、5月8日、6月11日、7月9日、9月10日：安全研修および緊急対応訓練 ●令和元年7月9日：LGBT対応研修 ●令和元年9月10日：認知症サポート研修 <p>(評価点：3点)</p>	A	<p>◆施設の特性を活かした自主事業（各種スポーツ教室や文化教室）を實施し、府民のスポーツ振興に貢献している。</p> <p>◆プール補助券の販売においては売上が減少しているため、周辺3市と引き続き連携が取れるよう努めていただく。 ※守口市や東大阪市にも営業を行う予定。</p> <p>◆人件研修をはじめサービス・マナー研修、個人情報保護に関する研修、防災訓練の實施を計画的に實施している。</p> <p>(評価点：2点)</p>	A	
		③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み	<p>■アクティブシニアパートナーへの参加及び、まいど子どもカードの登録。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクティブシニアパートナー利用実績 <ul style="list-style-type: none"> → 令和元年上期（4月～9月）実績：1名 ●まいど子どもカード利用実績 <ul style="list-style-type: none"> → 令和元年上期（4月～9月）実績：2名 <p>■地元中学校からの職場体験受入れ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大阪市立茨田中学校（令和元年6月6日、7日実施） ●門真市立門真第三中学校（令和元年9月4日、5日実施） <p>■内部監査を實施し指摘事項を即座に改善。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●指摘事項 <ul style="list-style-type: none"> ・パスワードの設定がされていない個人情報データあり。 ・金庫にルールで定められた以外の忘れ物を保管あり。 <p>■プライバシーマークの取得後、定期的な研修を實施。</p> <p>■エネルギー管理基準の作成と推進委員会の實施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●共同事業体内定例会議にて情報共有を図り、各部署にて省エネ意識の向上に繋げた。 <p>(評価点：3点)</p>	A	<p>◆シニアの方々が豊かな人生を送り、積極的に社会参加される「第二の活躍」を応援する府福祉部が事業展開しているアクティブシニアのパートナー施設として登録し、毎月15日にシニアへの利用料の割引を實施している。</p> <p>◆周辺中学校2校の職場体験を受入れ、メインアリーナの転換作業等の体験学習に協力している。</p> <p>◆法令遵守の取組みとして各種コンプライアンス研修や自主内部監査を實施するとともに、個人情報の取扱いへの団体としての意識向上に努めている。</p> <p>◆環境活動として、事業体構成団体が情報の共有化とともに、省エネ意識の向上を図っている。</p> <p>(評価点：3点)</p>	A	
①公平なサービス提供、対応状況	<p>■誰もが使いやすい施設・ハードの整備や、誰もが参加できる事業の實施、平等に利用できる運用ルールの設定マナー向上の啓発を實施。</p> <p>■無料で参加できるプログラムとして、プールでは「ワンポイントレッスン」、トレーニングでは「サービスプログラム」を實施。</p> <p>(評価点：3点)</p>	A	<p>◆接客研修を實施し、職員の対応力の向上に努めており、本取組みが施設を利用する方々の満足度を向上させる一因となっている。</p> <p>また、コンプライアンス研修を實施することで公の施設に必要な公平性を確保することにつながっている。</p> <p>◆だれでも参加可能なワンポイントレッスンの實施により、老若男女を問わず水泳の能力向上を図ることが可能である。更に無料であることから、利用者が気軽に参加できると好評である。</p> <p>(評価点：3点)</p>	A			

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体		指定期間：平成27年4月1日～令和2年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
I 提案の履行状況に関する項目	(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>②高齢者、障がい者等に対する配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高齢者への利用配慮 <ul style="list-style-type: none"> ●アクティブシニアパートナーへの参加 <ul style="list-style-type: none"> →利用料金の減免対応。 健康運動指導士5名、健康運動実践指導者1名を配置。 ■障がい者への利用配慮 <ul style="list-style-type: none"> →障がい者及び介助者の利用料金、駐車料金の減免対応。 障がい者スポーツ指導員を3名配置。 貸出し用の車椅子を設置。 ●令和元年上期（4月～9月）実績 <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングジム <ul style="list-style-type: none"> 利用者数：5,302人、前年比：102.0% ・プール <ul style="list-style-type: none"> 利用者数：4,387人、前年比：126.9% <p>(評価点：3点)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆府福祉部が事業展開しているアクティブシニアのパートナー施設として登録している。また、健康運動指導士資格者を複数配置し、高齢者の安全な運動に配慮している。 ◆貸出し用車椅子の配置、減免を実施するとともに、障がい者スポーツ資格者を2名配置するなど障がい者に対する配慮ができています。 ◆施設のバリアフリー情報を館内に掲示しており、利用者への配慮に努めている。 <p>(評価点：3点)</p>	A		
	(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平成29年7月から駐車場料金の改正を行い、行事案内やホームページでの露出を強化。2年経過し、利用者にも定着してきており、売上、台数ともに前年を上回る結果となる。 <ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度及び、令和元年度上期（4月～9月）実績。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度 <ul style="list-style-type: none"> 売上：16,463千円 台数：29,066台、1時間無料券：5,070件 ・令和元年度 <ul style="list-style-type: none"> 売上：17,115千円 台数：30,992台、1時間無料券：5,441件 ■「なみはやスイムフェスティバル」の開催。 <ul style="list-style-type: none"> ●8月18日（日）開催 参加：551名（対前年比110.2%） ■「プールキッズデイ」の開催。 <ul style="list-style-type: none"> ※小さいお子様連れの利用者拡大 ●実施日：4/13、5/4、6/8、7/13、9/7 ■中高年者にも楽しんでもらえるプログラムとして「楽ヨガ」を増設。 <ul style="list-style-type: none"> ●令和元年度上期参加者数：297名 → 353名（対前年比：118.9%） ■専用利用の利用率向上ため、空き枠営業を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ●アリーナでは吹奏楽を中心にお声かけを実施。 ●プールではレーン貸しを中心に施設利用の促進を実施。 <p>(評価点：4点)</p> 	S	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成29年7月に、駐車料金において料金体系を変更した後も、利用者への周知を積極的に行い、着実に利用台数、売り上げを増加させている。 ◆昨年度8月からトレーニングルーム、プール等を利用された方への駐車場1時間無料サービスを継続し、利用者満足度を高めている。 ◆「なみはやスイムフェスティバル」、「プールキッズデイ」の開催やトレーニングルーム・プールでのサービスプログラムを実施するにあたり、指定管理者が別途経営している店舗における館内掲示を行うなどをし、前年の参加者数を上回っている。 ◆新たな利用者層を呼び込むための取り組みを行い、着実に実績を上げている。 ◆過去の利用実績から、効果的に専用利用の誘致活動を行っている。 <p>(評価点：4点)</p>	S		
		<p>②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 平成30年度実績： 500,279人 令和元年度目標： 530,000人 9月末現在実績： 252,952人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■トレーニングジム、プール利用促進のため、行事案内、ホームページを活用した広報を継続的に実施。 ■施設のPRとして、マスメディアからの取材、撮影協力を積極的に実施。 ■門真南駅掲示板に施設情報を掲載し、乗降者へのPRを実施。 ■新聞折込チラシ（20,000部）を令和元年6月1日に実施。 ■会議室検索サイト「会議室.COM」への継続掲載を実施。 <p>(評価点：3点)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆マスメディアからの取材や撮影協力、近隣施設や自治体への月刊行事案内の配布、駅掲示の掲示、新聞の折込チラシ等、広報活動を着実に展開している。特に、門真南駅周辺における広報活動（駅構内への広告掲示）を強化しており、地域の利用者の呼び込みに積極的に取り組んでいる。 ◆会議室の稼働率を向上させるために、会議室検索サイトへの登録や、館内での周知など積極的に活動を実施している。 <p>(評価点：3点)</p>		
	①提案のあったサービス向上策の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■業務推進委員会・設備連絡会にて、会議形式を変更し、懸案事項を活発に出し合えるように工夫を行った。 ■有資格者の配置を継続 <ul style="list-style-type: none"> 健康運動指導士5名、健康運動実践指導者1名、障がい者スポーツ指導員3名、体育施設管理士1名、NACA認定CSCS取得者1名、フィットネストレーナー1名、スポーツプログラマー1名 <p>(評価点：3点)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆指定管理者グループ構成員が集う業務推進委員会・設備連絡会議等を定期的に開催することで、各社連携をとり、利用者へのサービス向上に繋げている。 ◆各種有資格者を継続的に配置し、それぞれの資格に合わせたサービス等を展開し、利用者の満足度向上に努めている。 <p>(評価点：3点)</p>			

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体		指定期間：平成27年4月1日～令和2年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
施設の効用を最大限発揮するための方策	(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	<p>②自主事業の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自主事業としてスポーツ教室、文化教室を継続実施 <ul style="list-style-type: none"> ●自主事業収入プロポーザル金額 <ul style="list-style-type: none"> ・物販 8,984千円 ・スポーツ教室収入 30,503千円 ・文化教室収入 7,286千円 ・施設広告収入 1,513千円 ・マンツーマントレーニング収入 804千円 ・大会イベントサポート事業 6,831千円 ■スイミング短期教室では、複数受講、兄弟（ペア）、友人紹介、早期割引など実施集客に努めた。 <p>(評価点：2点)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆自主事業として、スポーツ教室及び文化教室を前年度に引き続き開催し、利用者のニーズに応えている。 ◆他施設でもあるような教室だけでなく、独自性を打ち出した教室を開催することにより、新規利用者獲得を期待する。 ◆紹介制度を導入することにより、利用者の呼び込みおよび定着を図っている。 <p>(評価点：2点)</p>	A		
	<p>③施設設備、機能の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ■複合施設として、様々な競技大会、イベント等を同日開催し、施設の有効活用を行った。 ■プール可動床機能があることからアーティスティックスイミングの日本代表合宿の受入れを行った。 <p>(評価点：3点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設の中心となるメインプール、メインアリーナ、メインリンク、サブアリーナ、サブプールの利用率は高い。 ◆メインプール、サブプールにおいては、可動床により、同時に複数の目的別利用を行っており、施設機能を十分活用できている。 <p>(評価点：3点)</p>					
(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ■施設・設備維持管理基本方針に則り、資産の長寿命化と機能維持に努める。 <p>国際品質管理基準（ISO9001）に基づく施設管理を実施。</p> <p>(評価点：3点)</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設修繕会議を定期的で開催し、施設の現状と問題点や課題等を共有し、効果的な維持管理の方策を立案し、実践することができている。 <p>(評価点：3点)</p>	A		
	②施設設備の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ■設備の日常巡視点検、定期点検により正常な状態を把握し、「施設故障リスト」の作成と活用により、不具合を長期化させずできる限り早くに対処する。 <p>(評価点：3点)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆日頃からのチェック体制を整備し、安全管理に向けた意識向上を図ることができている。また、不具合が発生した場合の情報共有から対処までの体制も整備されている。 <p>(評価点：3点)</p>			
	③緊急時の危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ■危機管理マニュアルに基づいた行動を心掛け、危機管理体制を共有している。 ■年間通じて、定期的な消防訓練、緊急対応訓練、CPR訓練を確実に実施し緊急時対応の技術を維持する。 ■地震・火災・水害等の緊急時は、関係機関と連携しながら利用者、従業員の安全確保を図り、被害拡大を阻止できるようにマニュアルを整備し、訓練を実施する。 ■マニュアル把握と危機対応行動が平準化できた。 <p>(評価点：4点)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆左記のとおり危機管理体制を整備しており、大阪府北部地震や台風の際には、迅速な緊急対応および適切な体制整備を行った。 ◆近隣の幼稚園で爆破予告があった際に、求めに応じて施設を避難先として開放した。 <p>(評価点：4点)</p>			
(6) 収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■ホームページバナー広告及び月間行事案内広告、壁面広告を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・HPバナー広告 3件 58千円/月 ・月間行事案内広告 5枠 105千円/月 ・館内壁面広告 1社 10千円/月 <p>※上期実績1,038千円（プロポーザル比103.4%）</p> <p>(評価点：2点)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ◆月間行事案内及びHPバナーへの広告掲載が実施されており、収入確保策の取り組みがなされている。結果、前年を上回る収入を計上しており、取組良好である。 <p>(評価点：3点)</p>	A		
	②提案どおり実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ■館内壁面広告：1社10千円/月 ■大型映像広告実績は無し <p>(評価点：1点)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆提案どおりの館内壁面広告は実施しているが、メインアリーナ大型映像広告掲載については実績がない状態である。実施者獲得に向けた施策が必要。 <p>(評価点：2点)</p>			

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体		指定期間：平成27年4月1日～令和2年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
その他管理に際して必要な事項	(7)府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■「まいど子どもカード」利用料金割引（100円引き）実施。 → 令和元年度上期（4月～9月）実績：2件 ■「アクティブシニアパートナー」利用料金割引実施。 （トレーニング、プールの利用料が500円） ■府政学習会への積極的な協力。 ■府各部署からの啓発掲示物の掲示協力。 ■大阪府各部署間関係を継続的に掲示協力。 ■大阪マラソン、府催事広告、訓練参加を行っている。 ■門真警察の防犯啓発ポスター掲示協力。 ■守口門真市消防組合祖消防本部の防火啓発ポスターの掲示協力。 ■C-STEPへの継続加盟。 <p>（評価点：3点）</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ◆府福祉部の施策である「まいど子どもカード」や「アクティブシニアパートナー」、府民文化部の施策である「大阪マラソン」、政策企画部の施策である「大阪880万人訓練」、教育庁の施策である「子どもの体力づくりサポート事業」、門真警察署や消防組合等各分野種々の事業に積極的に協力している。 <p>（評価点：3点）</p>	A	
		②行政の福祉化の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■地域就労支援センター、母子支援センター等、各就労支援事業から雇用活動実施。 ■共同事業体各社 障がい者の実雇用率 <ul style="list-style-type: none"> ●令和元年6月1日現在 <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社オージー：2.65% ・関電ファシリティーズ株式会社：1.55% ・株式会社パティネレジャー：3.17% ■平成30年より、当施設では東京パラリンピックを目指すパラスポーツ競技者 1名を雇用。 <p>（評価点：3点）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆C-STEPへの加入や知的障がい者の清掃現場就業について、提案とおりの取組みがなされている。 また、障がい者スポーツに取り組む方の支援も積極的に行っており、アジアパラリンピック代表選手も従業員から輩出している。 <p>（評価点：3点）</p>		
		③ 市民・NPOとの協働の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■なみはやスイムフェスティバルを通じて、市民ボランティアが参画できる機会を提供した。 <p>（評価点：3点）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆左記のとおり、市民ボランティアとの協働実績があり、取組良好である。 <p>（評価点：3点）</p>		
		④環境問題への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ■メインプール期間終了後の排水を、雨水貯蔵タンクへ移行し雑用水としてトイレの排水等に使用。 ■老朽化した照明器具を順次LED化し、節電効果の高いものに変更。 ■外気温や利用者数に応じて、濾過機、空調などの間欠運転を実施し節電に努めた。 ■植栽への散水機の吐出時間及び、駐輪場や街灯を季節に応じてタイマー調整し節電、節水に努めた。 <p>（評価点：3点）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ◆照明のLED化や気候・利用状況に応じた対応により、節電・節水に努めており、取組良好である。 <p>（評価点：3点）</p>		
I 総括		7項目（28点満点）		A	7項目（28点満点）	A	

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体		指定期間：平成27年4月1日～令和2年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
IIさらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ■利用希望調査表とともに、各利用団体に10月8日に送付済み、11月末までに回収。 (2018年度配布実績 配布数605通、回収数68通、回収率11.2%) (評価点：3点)	A	◆専用利用の団体及び個人の利用者に対して毎年アンケートを実施している。 (評価点:3点)	A		
		②調査結果のフィードバック（PDCA） ■アンケート結果は必ず集計し、結果を従業員全員で共有して各エリアの運営に反映する。アンケート以外で寄せられたご意見、ご要望についても同様に従業員で共有し、緊急性、影響度を考慮して優先順位つけて対処する。 (評価点：3点)					◆利用者からの意見、要望を集計し、各種改善に生かしている。利用調整結果の連絡時期の早期化など、要望について適宜対応を行っている。 (評価点:3点)
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み〔指標1〕自主事業参加者数 〔指標1〕自主事業参加者数 H30実績：3,979人、上半期実績：2,098人 R01目標：4,000人、上半期実績：1,849人 〔指標2〕自主事業収入状況 H30実績：61,527千円、上半期実績：22,217千円 R01目標：60,742千円、上半期実績：19,572千円	■トレーニングジムにて更に専門性の高いメニューを提供する目的で、マンツーマントレーニングのプログラム増設。マンツーマントレーニング実施可能トレーナーを219年度は5名増員し、合計16名となった。 ■教室参加者増加のため、認知活動を強化した。講師と連携し、体験会を随時実施。また、6月1日に新聞折込広告（20,000部）や、月間行事案内（4、5、7、9月での告知活動を強化した）。 ■夏休み短期水泳教室では、早期割引や複数受講割を導入し、兄弟・姉妹参加や2期以上の申込を促進した。 ■レストランと連携し、団体利用の昼食手配や食事を案内実施および催し物を開催。大会時の軽食の販売の斡旋や仲介を行うことで、団体利用者へのサービス向上に繋がった。 (評価点：2点)	B	◆トレーニングジムにおいて、障がい者を含むアスリート向けのマンツーマントレーニングを実施し、専門性の高いメニューを提供するなど更なるサービス向上の取り組みを実施している。 ◆体験教室、広報活動の強化、紹介制度の導入等新規利用者の獲得に積極的に努めているが、前年度の実績を下回っている。 ◆団体利用における満足度を上げるための取組(昼食手配など)を実施しており、サービス向上につなげている。 (評価点:2点)	B	
		(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み ■特にプールを中心に全職員で休館日を利用した集中清掃を実施、通常ではできないグレーチング部分やアーチトップなどの清掃を行い、清掃への意識向上を図った。 (評価点：3点)				
II 総括		3項目（12点満点）	A	3項目(12点満点)	A		

(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕R1収支計算書（プロポーザル） 収入：582,611千円、見込み：526,286千円 支出：582,611千円、見込み：525,584千円 納付金：0千円、見込み：705千円	事業収支及び見込（2019年度：プロポーザル比） 収入：90.3% 支出：90.2% 納付金：1% (評価点：2点)	B	◆施設収支は平成28年度から赤字が続いており、収支計画の確実な遂行に向けた取組みが必要である。 (評価点:2点)	B	守口市や東大阪市等への営業の際に、評価機関で最高評価を得た水質をアピールする等、プール補助券売上増加に努めること。
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置 ■各部署に人員配置を行い管理運営を行う。 ◆管理運営業務 常勤17名、非常勤90名 ※管理運営業務内容（事務室、トレーニングジム、プール、総合案内） ◆施設総合管理業務 ・設備管理業務 常勤8名 ・警備保安業務 常勤7名 ・清掃業務 常勤1名（非常勤15名） (評価点：3点)				
	②管理監督体制・責任体制 ■総括責任及び管理運営業務（スケート管理運営業務除く） → 株式会社オーゼスポーツ ■維持管理業務（警備保安業務及び清掃業務を含む） → 関電ファシリティーズ株式会社 ■スケート管理運営業務 → 株式会社パティネレジャー (評価点：3点)					

施設名称：門真スポーツセンター		指定管理者：OGMPなみはやドーム共同事業体		指定期間：平成27年4月1日～令和2年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言	
		評価 S～C		評価 S～C			
Ⅲ適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	③指導育成、研修体制	<p>■休館日を利用した全体安全訓練を中心に研修を実施し、スキルアップを図っている。運営MT、訓練を通じて、運営上の課題を検討して、都度改善することができた。</p> <p>夏場のプール繁忙期前にはプール安全研修を行い、遊泳者の異変の第一発見者になるための監視方法の練習や溺者への対処法などを行った。</p> <p>(評価点：3点)</p>		<p>◆従業員の指導育成については、研修の実施等適正に行われている。</p> <p>(評価点：3点)</p>			
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤	<p>①株式会社オーグスポーツ経営概要 売上高 15,120百万円（平成30年度）</p> <p>■フィットネスクラブ、テニスクール等各種スポーツ施設運営を行う直営フィットネスクラブ(コ・ス・パ) 25店舗</p> <p>■24時間営業フィットネスクラブ (FITBASE24) 13店舗</p> <p>■直営スイミング・カルチャースクール (SENRITOよみうり) 1店舗</p> <p>■直営テニスクラブ(コ・ス・パ) 8舗</p> <p>■直営サッカースクール(コ・ス・パ) 1施設</p> <p>■指定管理・運営受託施設 8施設</p> <p>②関電ファシリティーズ株式会社経営概要 売上高 34,386百万円（平成30年度）</p> <p>■施設維持の様々な要素を総合的に管理することで効率的な施設管理を全国規模で行う。</p> <p>③株式会社パティネレジャー経営概要 売上高 2,915百万（平成29年10月～平成30年9月）</p> <p>■全国的にスケートリンクの設計、設営、運営管理を行う。</p> <p>(評価点：3点)</p>		<p>◆構成企業を含め運営基盤は概ね安定している。</p> <p>(評価点：3点)</p>		A
		②法人等事業者の財務状況	<p>■事業体各社前期の財務指標、損益実績を明示 代表企業OGS（平成30実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上 : 15,120百万円 ・原価 : 13,659百万円 ・利益 : 01,462百万円 <p>■財務基盤の自己評価（H30年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総資 : 22,987百万円 <p>(評価点：3点)</p>		<p>◆構成企業を含め財政基盤は概ね健全であると考ええる。</p> <p>(評価点：3点)</p>		
Ⅲ 総括		3項目（12点満点）		A	3項目（12点満点）		A